

CITATION: Muzonzini G, Hofmeyr GJ. *Cochrane Database of Systematic Reviews* Cochrane Pregnancy and Childbirth Group, Issue 4. Art. No.: CD004221. DOI: 10.1002/14651858.CD004221.pub2
CRG名: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 11 April 2011
Clib issue No.; N/U: 2004 Issue 4; New

アブストラクト

背景: 本レビューは、標準化された方法による子宮頸管熟化および分娩誘発法に関する一連のレビューに含まれている。ミソプロストールの経口または舌下投与には作用の発現が速いという利点があるのに対し、舌下投与および経膣投与には作用時間が長く、バイオアベイラビリティ(生物学的利用能)が最も高いという利点がある。

目的: 妊娠第3三半期の子宮頸管熟化および分娩誘発におけるミソプロストールの口腔または舌下投与の有効性と安全性を検討すること。

検索戦略: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group's Trials Register(2003年12月8日)、Cochrane Central Register of Controlled Trials(コクラン・ライブラリ、2003年、第4号)、および関連論文の文献を検索した。

Cochrane Pregnancy and Childbirth Group's Trials Registerの検索を2009年7月28日に更新し、その結果は分類待ち区分に追加した。

選択基準: 妊娠第3三半期の子宮頸管熟化または分娩誘発において、ミソプロストールの口腔内または舌下投与をプラセボ/無治療またはその他にあらかじめ分娩誘発法のリストで規定した方法と比較したランダム化臨床試験。

データ収集と分析: 分娩誘発に関する膨大で複雑な試験データに対処するための包括的方法を開発した。データは標準化された用紙に抽出し、その正確性を調べ、RevManソフトウェアで解析した。

主な結果: 3試験(参加者502例)では、ミソプロストールの口腔内/舌下投与をそれぞれ経膣レジメン(200 µg対50 µg)と経口投与(50 µg対50 µg、50µg対100µg)と比較していた。

口腔内投与では、経膣投与より帝王切開が減少する傾向がみられた[18/73件対28/79件;相対リスク(RR) 0.70、95%信頼区間(CI)0.42~1.15]。その他のアウトカムに有意差はなかった。

同用量の舌下投与と経口投与を比較した場合、舌下投与の方が、24時間以内に経膣分娩に到らなかった例が少なく(12/50件対19/50件;RR 0.63、95%CI 0.34~1.16)、オキシトシンによる分娩促進が減少し(17/50件対23/50件;RR 0.74、95%CI 0.45~1.21)、帝王切開が減少したが(8/50件対15/50件;RR 0.53、95%CI 0.25~1.14)、その差は統計学的に有意ではなかった。

用量が舌下投与の方が経口投与より少なかった場合は、どのアウトカムにも差はなかった。

レビューアの結論: わずか3件の小規模試験に基づくと、ミソプロストールの舌下投与は、同用量の経口投与と少なくとも同等に有効であると考えられる。関連する合併症や副作用に関する見解を示すのに十分なデータはない。ミソプロストールの舌下または口腔内投与は、その安全性や至適用量がより大規模な試験で確立されるまで

[注:本レビューの分類待ち区分の17件の引用を評価すると、本レビューの結論が変わる可能性がある。]

平易な要約(Plain language summary)

子宮頸管熟化および分娩誘発におけるミソプロストールの口腔内または舌下投与

ミソプロストールの舌下投与または口腔内投与が分娩誘発に安全であることを判断するのに十分なエビデンスはありません。

(監訳 江藤 宏美)

翻訳公開日:2015年 1月 27日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。